

2023年（令和5年）度

事業報告書

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

2024年（令和6年）度事業報告書 目次

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括・重点項目実施状況・・・・・・・・・・ 1

II 理事会・評議員会等開催状況

（1）理事会開催状況・・・・・・・・・・ 10

（2）評議員会開催状況・・・・・・・・・・ 11

III 役員・評議員等名簿・・・・・・・・・・ 13

IV 事業実績

公社独自事業・・・・・・・・・・ 14

介護保険事業・・・・・・・・・・ 18

障害者総合支援事業・・・・・・・・・・ 22

宇治市受託事業・・・・・・・・・・ 24

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括

2023年(令和5年)度は、公社にとって新たな「中期経営戦略計画」の初年度であり、且つ新たな組織体制がスタートした年となった。更には宇治市より派遣管理職を迎え、担当課との定例協議を毎月行う等、宇治市との連携強化に努めた1年であった。

経営状況については「リハビリデイサービスぽっぽ中宇治」が軌道に乗りはじめたことや、広野事業所ケアマネジメント係の特定事業所加算取得、デイサービスの稼働率向上等もあり、前年度と比較して介護保険等の収入は増加した。また、地域包括支援センターの人員増による委託費の増額等もあり、厳しい中においても事業収支実績の黒字化を図ることができた。

更に、「5Mission」と題した5つの重点取り組み事項を提示し、事故防止や業務効率化、事業経営状況の見える化や広報の強化等を図ると共に、各種委員会活動を通じた職員の意見や提案を積極的に取り入れる等、業務の見直しや改善に取り組み、一層の働きやすい職場環境づくりに注力した。

とりわけ広報活動に力を入れ、各種SNSを通じた情報発信や宇治市役所ロビーでの「公社展」を開催する等、新たな取り組みを行った。

一方で、公社事業の根幹を支える人材確保については、ハローワーク等での応募は非常に少なく、人材紹介会社を通じなければ人材確保がままならない状況が続いており、採用した人材の育成と定着が最重要課題となっている。

こうした福祉人材の確保については、もはや一法人、一事業者だけでは解決困難な状況となっていることから、宇治市と共に市内社会福祉法人等との連携のもと、この課題解決に向けて法人間連携の仕組みづくりの協議を重ね、連携協議会の組織化に取り組んだ。

重点項目実施状況

2023年(令和5年)度の重点項目については以下の通り取り組んだ。

1. 宇治市の協働パートナーとして地域福祉の推進に寄与し、公社の存在価値を高める取り組み

①公社の設立時の目的の一つとして、市内在宅保健福祉サービスを手掛ける先駆的な法人として、他法人の範となるサービス提供が示されている。この間、法令遵守に基づいた利用者本位の質の高いサービス提供を掲げ、利用者、市民の負託にこたえてきたところである。しかし、新たな体制を機に今一度、公社設立理念やモットー、倫理規則に照らしてサービス部門ごとに点検を行い、公社のモットーである「利用者本位のあたたかいサービスの提供」をより一層、明確に具現化する。

【結果】

- 宇治市と公社の更なる連携強化として、宇治市より派遣管理職（企画監）を迎え、月1回ペースで長寿生きがい課、介護保険課との定例協議の場を設け、課題の共有を図った。

- 宇治市の福祉・介護人材不足の状況を打開していくために、宇治市内の社会福祉法人との連携により福祉人材確保や福祉の仕事の魅力発信のための仕組みづくりが必要とのことから、公社と同様に地域包括支援センターを受託している社会福祉法人（宇治明星園、くらしのハーモニー、不動園、一竹会）と宇治市社会福祉協議会に働きかけて、現在介護業界で課題となっている人材確保や人材育成、福祉職場の魅力発信等を共同で行うための協議の場を宇治市担当課同席のもとで設けた。その結果、2024年(令和6年)度にこれら法人による連携協議会を設立することとなった。

②指定管理を受けている地域福祉センターを活動拠点としてこれまで事業を行ってきた。長引くコロナ禍においては、地域密着型事業を実施することが難しかったが、地域住民から公社は地域になくてはならない存在であることを認識いただくためにも、コロナ禍の動静を見据えながら関係団体との協働を深化させ、地域ニーズに基づいた公社ならではの地域密着型事業の取り組み、地域からの信頼や地域福祉拠点として地域への発信力を高める取り組みを行う。

【結果】

- 各事業所において以下の取り組みを行った。

◆中宇治事業所

- 「中宇治ぽっぽガーデン」をガーデニングボランティアと月2回の共同作業実施。（延べ20回、123名のガーデニングボランティア参加）
- 宇治支援学校高等部1年生と「中宇治ぽっぽガーデン」の共同作業実施。
- 毎月1回のクリーン運動の実施。
- 「中宇治ぽっぽカフェ」の開催。（10月1日）
- 宇治橋通り商店街「わんさかフェスタ」への出展。（10月28日）

◆西小倉事業所

- 西小倉民児協主催の輪投げ大会に職員が参加。「福祉サービス公社賞」を創設し、参加された近隣住民に地域福祉センターが広く認知されるような取り組みを実施。（年4回参加）
- ガーデニングボランティアによる花壇の整備、植替えを実施。
- 西小倉地域の福祉まつりに参加。（11月19日）
- 「にしおぐら de おさんぽラリー」に参加。（11月26日）
- 西小倉地区防災訓練に参加。（12月9日）

◆東宇治事業所

- 花壇や周辺の清掃を行うクリーンデイを毎月1回実施。
- デイルームを活用したミニシアターを開催。（年3回）
- 健康麻雀の開催（月2回）
- 「ひがしうじぽっぽフェスタ」の開催（10月28日）

◆広野事業所

- ・講師派遣事業の実施（「はつらつ金曜会」にて認知症の講演会と化粧療法）。
- ・広野中学校生徒会のひまわりプロジェクトへの参画。
- ・大開小学校 5 年生総合的学習時間の受け入れ。
- ・「城南荘木曜カフェ」においてセンターの PR 活動を実施。
- ・黄檗学園で開催された世代間交流事業の見学。
- ・大開学区福祉委員会との意見交換会を開催し、居宅介護支援事業所の役割や、日々の活動における「気づき」について意見交換を実施。
- ・大開学区福祉委員会の配食事業への職員の派遣協力。

③公社の公的側面である宇治市からの委託事業は宇治市のパートナーとしての公社の存在価値に相応しい重要な事業である。そのためには専門性を発揮した委託事業の実施と宇治市の期待に応え、これまで以上に事業成果を提示する必要がある。そのためにも懸案事項である各種委託事業の仕様、委託額について宇治市担当課との協議を継続する。

【結果】

- ・長寿生きがい課、介護保険課との連携強化のための会議を定例で開催し、委託事業に関するものの他、現在の介護業界全体の共通課題等に対して、市として出来る事、公社として共に出来る事等について意見交換を行った。
- ・宇治市の調整のもと、FM 宇治の番組内での公社 PR の機会や、2 月 5 日～7 日の 3 日間、宇治市役所ロビーでの公社事業の PR 活動として「公社展」を開催し、延べ 200 名の来場者があり好評を得た。

2. 介護保険事業等の収益事業の安定化を図る取り組み

①制度改定や介護人材不足という事業運営に係る課題や変化に対応できるよう、関係法令の改正の動きや正しい法令解釈に基づき、時宜に適した事業運営に資する情報収集・分析の徹底を図る。

【結果】

- ・月 2 回の経営会議の開催と月 1 回の係長会議において、経営状況と事業の進捗状況の確認と情報共有を行った。
- ・毎月の経営状況を職員に周知するために「マンスリーレポート」を発行し、月毎の予算達成状況、利用状況等の他、月々のトピックス等を掲載し、職員への状況共有を図った。

②公社人材育成計画に則り、公社で働く職員が各々の専門性を遺憾なく発揮し、自信を持って業務にあたるよう、社内教育・研修に取り組む。とりわけ各部門における新人教育を含めた OJT を効果的に進めるための業務マニュアルの見直し等に速やかに取り組み、併せて、介護人材不足に対し、新たな発想での人材確保策を提示できるように取り組む。（具体的には無資格者の採用

後の資格取得支援や、高年齢者の積極的な登用等)

【結果】

- 新人職員を対象としたメンタルヘルス研修を、産業医を講師に年 2 回実施した。
- 管理職を対象に顧問会計事務所から講師を迎え財務諸表の理解を深めるための研修を実施した。
- 管理職を対象としたメンタルヘルス研修を、産業医を講師に実施した。
- 毎月の係長会議で月毎に各種マニュアルの見直しを行った。
- 定年延長について顧問社会保険労務士の助言を得て三役会で協議し、第 83 回理事会において定年年齢を現行の 60 歳から 61 歳に引き上げ、以降毎年 1 歳ずつ定年年齢を引き上げ最終 65 歳まで引き上げることとした。
- 介護労働安定センターに委託し、相談系職員を対象にした研修を 4 回 (2 グループ 2 回ずつ) 開催した。

3. 中期経営戦略計画期間中(2023 年度～2027 年度)における重点施策への初年度の取り組み

①障害者サービスの事業拡充について (ヘルプサービス係・障害者相談支援センター係)

障害者サービスの事業拡充のために、ニーズ調査や経営分析、体制整備等について、ヘルプサービス係、障害者相談支援センター係を横断したプロジェクトチームを立ち上げる。

【結果】

- ヘルプサービス係長会議の中で、障害者相談支援センター係も交えてプロジェクトチームを立ち上げ、計画相談支援について社内研修会を実施した。
- 市内の相談支援事業所の状況把握と、聞き取り調査に向けて調査項目、調査対象の選定を行った。
- 市内 8 か所の相談支援事業所を個別に訪問し、各事業所の実態や職員体制、ニーズ、公社への印象等について相談員より聞き取りを行った。また宇治市地域自立支援協議会が主催する交流会に参加し、市内の相談支援事業所・居宅介護事業所等との情報交換を行った。
- 相談支援事業所の聞き取り調査の結果を取りまとめ、今後の営業方針や相談支援事業所との連携の方向性について検討を行った。

②居宅介護支援事業所の拠点集約化について (ケアマネジメント係)

拠点集約化を進めるにあたって、課題整理等の検証作業を行う。

【結果】

- ケアマネジャーが不足している現状や業務効率化の提言等を各センター長から意見を集約し、長寿生きがい課、介護保険課との定例協議にて共有した。
- 業務効率化、ICT 活用検討のため、現行使用しているシステム管理のタブレット活用に向けたデモを受けた。
- 宇治市との定例協議においてサテライト方式の可否について議題に挙げて協議した。

③効率的で実効性のある組織の再編について（事務局総務係）

事務部門（事務局総務係と事業所事務、ヘルプ事務）の業務見直しを行う。ICTの導入やアウトソーシング等についての調査検討を行う。

【結果】

- ・見直しできる事務は順次作業を進めた。（年休管理票の廃止、研修申込事務手順の見直し、その他事務の簡素化等を随時実施）
- ・課題ごとに総務係職員で見直し事業等の洗い出しを行った。

④多様な働き方と定年後の再雇用について（経営会議）

限られた人材の弾力的な運用に向けた多様な働き方に対する労働条件等の制度化、定年延長の制度検討作業に入る。

【結果】

- ・プロパーの定年延長について、定年年齢を61歳に引き上げる案を第83回理事会で議案として上程し、可決された。
- ・アルバイト職員の定年年齢について、ヘルプサービス係を中心に来年度75歳を迎えるアルバイト職員、契約ヘルパーの雇用延長の是非についての議論、情報収集を行い、第86回理事会においてアルバイト職員のうち、契約ホームヘルパー等確保困難な職種について現行の75歳での雇止めを、本人の就労意欲や健康状態等により引き続き雇用できるよう規程の改正を行った。
- ・昨年度の「働き方検討委員会」からの職員の副業にかかる提言に対して、公社としての考え方やルールについて職員に向けて打ち出した。
- ・「働きやすい職場環境づくり委員会」が行ったアンケート結果報告を踏まえて事務局長所感を発出し、業務の基本的な考え方について説明を行った。

4. 部門別重点項目

《介護保険部門》

「中期経営戦略計画」に位置付けられた、介護保険事業各部門において掲げられた目標及び年度ごとの達成目標の完遂のため、各々必要な措置を講ずるとともに、半期毎に成果を検証する。

【結果】

- ・毎月の経営状況を職員に周知するために「マンスリーレポート」を発行した。
- ・係単位の目標管理シートに基づき、職員個々に設定した目標について、管理職からヒアリングを行い、半期の取り組み状況についてのヒアリングを実施した。

《障害者総合支援法部門》

「中期経営戦略計画」の重点施策の一つに位置付けられている障害者サービスの事業拡充につい

でのニーズ調査、供給体制に関する精査等の具体的な検討を行い、年度内に結論を出す。

【結果】

- ヘルプサービス係長会議の中で、障害者相談支援センター係も交えてプロジェクトチームを立ち上げ、計画相談支援について社内研修会を実施した。
- 市内の相談支援事業所の状況把握と、聞き取り調査に向けて調査項目、調査対象の選定を行った。
- 市内 8 か所の相談支援事業所を個別に訪問し、各事業所の実態や職員体制、ニーズ、公社への印象等について直接相談員より聞き取りを行った。また宇治市地域自立支援協議会が主催する交流会に参加し、市内の相談支援事業所・居宅介護事業所等との情報交換を行った。

《宇治市委託事業部門》

宇治市の協働パートナーの立場を具体的に示す事業として、地域包括支援センターや介護予防事業をはじめとする市委託事業の受託は公社の活動拠点である地域福祉センターの指定管理の維持継続も含めて重要な事業である。よって、単年度ではなく中・長期の視点に立って担当課と定期的な協議の場を設定し、専門セクターの立場から積極的に市に提案を行う。

【結果】

- 長寿生きがい課、介護保険課との連携強化のための会議を定例で開催し、委託事業に関するものの他、現在の介護業界全体の共通課題等に対して、市として出来る事、公社として共に出来る事等について意見交換を行った。
- 宇治市の調整のもと、FM 宇治の番組内での公社 PR の機会や、2月5日～7日の3日間、宇治市役所ロビーで公社事業のPR活動として「公社展」を開催し、延べ200名の来場者があり好評を得た。
- 生活支援体制整備事業、初期認知症総合相談支援事業について「健康長寿フェス2024」や「第10回認知症フォーラム in 宇治」を宇治市と共に開催し、多数の来場者を得た。

《公社独自事業部門》

人材確保が困難を極める中、一昨年度、昨年度と「ほほえみ介護塾」の実績は好調であり、卒業生の入職率も高い。よって「ほほえみ介護塾」を重要な事業と位置づけ、初任者研修（130時間）と併せて、入門的研修（21時間）、生活支援従事者研修（59時間）、ガイドヘルパー養成研修等、市民の資格取得支援メニューを増やす方向で検討し、今後の多様な働き方に対応できるマンパワー養成と確保を目指す。更に自社内での質の高い講師養成を目指し、ケアワークの技術の向上を図る。その他、介護保険外サービス（ほほえみサポート）の利用ニーズも依然として高いことから、従事するサポーターの確保、サービス提供のオペレーションの見直し等を行う。

【結果】

- 介護職員初任者研修課程は、定員20名に対して8名の応募があり、全員が修了した。
- 介護保険外サービス及び市委託事業（産後ケア・子育て世帯訪問支援事業）の実績を分析し、供

給体制について検討した。

- 介護に関する入門的研修を入札の結果受託し、市民 18 名が受講した。その後、宇治市生活支援員養成研修を実施し 1 名が受講した。

《事務局総務部門》

「中期経営戦略計画」に位置付けられた事務部門の課題解決に向けて、まずは人事労務・給与・財務等の事務作業の効率化、内容の確実性を図るための業務見直しに努め、併せて公社事務部門の業務手順や経験の継承を中心に若手事務職員の育成にあたる。

【結果】

- 見直してできる事務は順次作業を進めた。(年休管理票の廃止、研修申込事務手順の見直し、その他事務の簡素化等を随時実施)
- 課題ごとに総務係職員で見直し事業等の洗い出しを行った。



【好評を得た公社展】

II 理事会・評議員会等開催状況

(1) 理事会開催状況

第80回 理事会 [2023年(令和5年)6月2日開催]

議案第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022年(令和4年)度事業報告書(案)」について
議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022年(令和4年)度決算報告書(案)」について
議案第3号	「定時評議員会(第28回評議員会)の招集及び提出議案」について
議案第4号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第1号	「理事長等執務報告」について
報告第2号	「宇治市との定例会議開催」について
報告第3号	「公社カウンセリングルームの開設」について
報告第4号	「新型コロナウイルス第5類移行に伴う取扱いについて」について
報告第5号	「2022年(令和4年)度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第6号	「2023年(令和5年)度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第81回 理事会 [2023年(令和5年)6月28日開催]

議案第5号	「代表理事(理事長)及び副理事長並びに専務理事」の選定について
-------	---------------------------------

第82回 理事会 [2023年(令和5年)8月8日開催]

議案第6号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第7号	「理事長等執務報告」について
報告第8号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 見舞金支給の取扱いについて(内規)」について
報告第9号	「第1四半期事業進捗状況及び収支実績の報告」について

第83回 理事会 [2023年(令和5年)9月21日開催] (みなし理事会)

議案第7号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第8号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について

第 84 回 理事会 [2023 年 (令和 5 年) 11 月 9 日開催]

議案第 9 号	「定年年齢の引き上げについて」について
議案第 10 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第 11 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第 12 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員退職金規程」の一部改正について
議案第 13 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第 14 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第 15 号	「定年退職後再雇用者の基本賃金格付け及び賞与の支給に関する取扱要項」の一部改正について
報告第 10 号	「理事長等執務動静」について
報告第 11 号	「上半期事業進捗状況及び収支実績の報告」について
報告第 12 号	「2023 年(令和 5 年)度 冬季賞与・特別賞与の支給」について
報告第 13 号	「2023 年(令和 5 年)度 上半期事故・苦情・サンクスレポート」について

第 85 回 理事会 [2024 年 (令和 6 年) 1 月 30 日開催]

議案第 16 号	「管理職の退職」について
議案第 17 号	「管理職の定期人事異動」について
議案第 18 号	「第 30 回評議員会の招集及び提出議案」について
報告第 14 号	「理事長等執務報告」について
報告第 15 号	「第 3 四半期事業進捗状況及び収支実績の報告」について
報告第 16 号	「東宇治デイサービスセンターの日曜日営業一時休止」について

第 86 回 理事会 [2024 年 (令和 6 年) 3 月 28 日開催]

議案第 19 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年 (令和 6 年) 度事業計画書(案)」について
議案第 20 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年 (令和 6 年) 度収支予算書(案)」について
議案第 21 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第 22 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第 23 号	「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程」について
報告第 17 号	「理事長等執務動静」について
報告第 18 号	「2023 年 (令和 5 年) 度決算見込み」について
報告第 19 号	「介護職員処遇改善支援補助金に係る期末特別賞与の支給について

(2) 評議員会開催状況

第28回 定時評議員会 [2023年(令和5年)6月28日開催]

議案第1号	「理事の選任」について
議案第2号	「監事の選任」について
議案第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022年(令和4年)度決算報告書(案)」について
議案第4号	「評議員の選任」について
報告第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022年(令和4年)度事業報告書」について
報告第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第3号	「理事長等執務報告」について
報告第4号	「宇治市との定例会議開催」について
報告第5号	「公社カウンセリングルームの開設」について
報告第6号	「新型コロナウイルス第5類移行に伴う取扱い」について
報告第7号	「2022年(令和4年)度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第8号	「2023年(令和5年)度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第29回 評議員会 [2023年(令和5年)8月8日開催]

報告第9号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第10号	「理事長等執務動静」について
報告第11号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 見舞金支給の取扱いについて(内規)」について
報告第12号	「第1四半期事業進捗状況及び収支実績の報告」について

第30回 評議員会 [2024年(令和6年)3月28日開催]

報告第13号	「定年延長について」
報告第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024年(令和6年)度事業計画書」について
報告第15号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024年(令和6年)度収支予算書」について
報告第16号	「2023年(令和5年)度収支決算見込み」について
報告第17号	「管理職の退職及び定期人事異動」について
報告第18号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
報告第19号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第20号	「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程」について
報告第21号	「介護職員処遇改善支援補助金に係る期末特別賞与の支給について」

Ⅲ 役員・評議員等名簿

(1) 役員名簿 【2024年(令和6年)3月31日現在】

役職	氏名	備考
理事長	塚原 理俊	有識者
副理事長	笹部 和男	弁護士
専務理事	田實 敬幸	前宇治市福祉サービス公社事務局長
理事	有賀やよい	医師
理事	五艘 雅孝	有識者
理事	栢木 利和	有識者
理事	星川 修	宇治市健康長寿部部長
理事	小松美恵子	元小学校校長
理事	平田 研一	認知症予防ネット理事長
理事	原 保彦	宇治市社会福祉協議会副会長
監事	池田 正彦	宇治東福祉会専務理事
監事	小林 幸大	京都銀行宇治支店長

名誉理事長	岡本 民夫	前宇治市福祉サービス公社理事長
顧問	伊藤 義明	元宇治市福祉サービス公社副理事長

(2) 評議員名簿 【2024年(令和6年)3月31日現在】

役職	氏名	備考
評議員	岡野 英一	京都ボランティア協会理事
評議員	石川 祐弘	宇治市連合喜老会副会長
評議員	神野 君夫	宇治久世医師会理事
評議員	吉田美恵子	宇治市民生児童委員協議会理事
評議員	須原 隆之	宇治市健康長寿部副部長
評議員	小松 一子	元大学教員
評議員	菊池ゆかり	山城福祉会地域生活支援室室長

(3) 第三者委員名簿 【2024(令和6)年3月31日現在】

役職	氏名	備考
委員	山花 啓伸	
委員	高田智恵子	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対する第三者的な相談・苦情窓口

公社独自事業

＜定款第4条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

＜定款第4条(2)＞ 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

＜定款第4条(10)＞ 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



【わんさかフェスタへの出展】



【西小倉地域福祉まつりのパレード】



【ひがしうじぽっぽフェスタ】



【企業とのコラボによる高齢者のメイク講座】

公社会員の状況

賛助会員	会員数	備考
法人会員	22	1 □ 10,000 円
個人会員	60	1 □ 1,000 円

情報誌の発行

公社情報誌「ぼっぼ」（各 2,500 部発行）を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第 52 号（2023 年（令和 5 年）6 月発行）

第 53 号（2024 年（令和 6 年）1 月発行）

情報の収集と提供

公社情報誌「ぼっぼ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報、求人情報の提供を行った。

また、公社の広報活動に力を入れ、特に SNS（Instagram、Facebook、LINE 公式アカウント等）を活用した情報発信に注力した。

（各種 SNS のフォロワー数と投稿数）

公式 SNS	フォロワー数	投稿数	昨年度投稿数
Instagram	1,117	118	19
Facebook	502	47	13
LINE	151		
X (旧 Twitter)	226	15	24

2024 年(令和 6 年)2 月 5 日～7 日の 3 日間、宇治市役所 1 階ロビーを会場に初めてとなる「公社展」を開催した。公社事業の展示や就職相談、介護相談コーナー、広報イベントを行い、公社 PR 活動を行った。3 日間で延べ 200 人の市民、関係者の来場を得た。

介護保険外訪問介護サービス（自主サービス） 通称「ほほえみサポート」

介護保険法で対応できない家事支援等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。
 ＊通院介助、一時的な掃除・整理整頓、絵画教室等への外出介助、産後ケア終了後の家事支援等

◆実績

（ほほえみサポート）

	令和5年度	昨年度
実人数	14名（介護・障害・産後）	24名（介護・障害・産後）
派遣回数	188回	191回
派遣時間	228時間45分	306時間30分

（院内介助）

	ぽっぽひがしうじ	ぽっぽ	計	昨年度
実人数	4名	6名	10名	7名
派遣回数	6回	24回	30回	13回
派遣時間	18時間45分	62時間	80時間45分	24時間40分

福祉人材研修事業

1) ほほえみ介護塾

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況において、ほほえみ介護塾は自社での養成事業として重要な役割を持つ事業である。今年度は定員20名に対して8名の応募となり、前年度と比べると低調であった。

その内、受講前アンケートで「すぐ働きたい」「いずれ働きたい」と答えた3名の内、1名が会社への入職に繋がった。

◆実績

実施時期	8月28日～12月11日
受講者数	8名
修了者数	8名
入職者数	1名

2) 介護技術習得・介護予防ボランティア養成サービス

*介護予防サポートセンターボランティア研修

新型コロナによる人数制限があって以降、介護予防教室でのボランティアの受け入れはなく、又十分な職員体制が取れなかったことから、研修会を開催する事が出来なかった。

3) 公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャー等からの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や福祉用具を含む住環境改善等のアドバイスを行っているが、今年度は、障害者相談支援専門員からの2件の相談に対応した。

◆実績

	運動指導等リハビリ相談	福祉用具等住環境改善相談
実施回数	2回	0回



【ほほえみ介護塾の一コマ】



【中宇治ぽっぽガーデンで地域環境美化活動】



【城南荘地区のサロンにて福祉センターの啓発活動】

介護保険事業

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業

<定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業



【公社展でのデイサービス紹介パネル】



【リハビリデイサービスぽっぽ中宇治でのひとこま】

居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

◆実績 ※一人当たり給付管理は、予防給付等（事業対象者・要支援 1・2）については 1/2 件でカウント

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
介護支援専門員数	5名	4名	3.9名(*)	4.6名(*)	17.5名	16.9名
延給付管理件数	2,020件	1,802件	1,802件	1,980件	7,604件	7,663件
事業対象者	0	0	16	0	16	25
要支援 1	99	156	149	257	661	738
要支援 2	111	162	212	188	673	737
要介護 1	854	811	723	850	3,238	3,164
要介護 2	448	378	347	291	1,464	1,374
要介護 3	252	175	184	224	835	918
要介護 4	186	67	112	140	505	436
要介護 5	70	53	59	30	212	271
一人当たり給付管理/月	31.9件	34.2件	34.5件	31.8件	33.0件	34.1件

(*)広野事業所の介護支援専門員は 1 名アルバイト職員のため常勤換算で表記

(*)中宇治事業所の介護支援専門員は令和 5 年 9 月より 1 名増員で 5 名

◆各事業所の特徴

【西小倉】5名全員が主任介護支援専門員。他法人の居宅介護支援事業所と連携を図り市内のケアマネ勉強会の参加も積極的に行っている。

【東宇治】職員全員が経験年数 10 年以上で、様々なケースに対応している。ケアマネ勉強会等を通じて、市内他法人の居宅介護支援事業所と連携、交流も積極的に行っている。

【広野】8 月より特定事業所加算を再開することで、収入の安定化が図れるようになり、さらなる取得のためには常勤の介護支援専門員が必要となる。まずは、ケアマネ勉強会や地域活動を通じて地道に関係機関との連携を図り、利用者獲得を行っている。

【中宇治】令和 5 年 9 月より新しい介護支援専門員を採用し、5 名体制となった。

訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

			ぼっぼ ひがしうじ	ぼっぼ	計	昨年度
＊ 介 護 給 付	身 体 介 護	延利用人数	363名	649名	1,012名	1,112名
		延派遣回数	4265回	9,399回	13,664回	12,860回
	身 体・生 活	延利用人数	271名	272名	543名	551名
		延派遣回数	1,849回	2,280回	4,129回	3,627回
	生 活 援 助	延利用人数	468名	1,003名	1,471名	1,771名
		延派遣回数	2,527回	6,526回	9,053回	10,653回
＊ 予 防 給 付	予 防 介 護 Ⅰ (週1回程度の訪問)	延利用人数	546名	242名	788名	874名
		延派遣回数	2,181回	903回	3,084回	3,454回
	予 防 介 護 Ⅱ (週2回程度の訪問)	延利用人数	61名	108名	169名	175名
		延派遣回数	497回	872回	1,369回	1,403回
	予 防 介 護 Ⅲ (週2回程度を超える訪問)	延利用人数	0名	0名	0名	0名
		延派遣回数	0回	0回	0回	0回
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	24名	64名	88名	112名
		延派遣回数	91回	224回	315回	401回
計		延利用人数	1,733名	2,338名	4,071名	4,595名
		延派遣回数	11,410回	20,204回	31,614回	32,398回

※介護給付は要介護1～5の方、予防給付は要支援1～2の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象

◆各事業所の特徴

【ぼっぼ】令和5年度は35名の契約ヘルパーが在籍している。(内、70歳以上が8名、60歳以上が21名在籍)。平均年齢62.43歳(2024.3.31現在)実利用者数約175名を4名のサービス提供責任者で対応している。

【ぼっぼひがしうじ】年度スタート時26名のヘルパーが在籍していたが、入職者はなく、3名が年度途中で退職、また年度末で75歳を迎えたヘルパーが2名いる状況で担い手不足が深刻な状況にある。

*ヘルパーが利用者から暴力行為を受ける事案が発生し、当該ヘルパーへのサポートにあたった。当該利用者に対しては宇治市をはじめとする関係機関と連携を図り対応した。こうした事案を受けて、ヘルパーが不安のあるサービス提供現場については、複数対応等を行うこととし、また、利用者に対しても適切なサービス利用についての理解を更に求めていきたい。

通所介護事業（デイサービス）

要支援・要介護状態の方に対して、通所（送迎）による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

◆実績

施設区分	西小倉		東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
	通常型	認知症型	通常型	通常型	短時間型		
定員	25名	10名	25名	23名	30名	113名	113名
運営日数	361日	309日	348日(*)	361日	257日		
延利用人員	8,427名	2,327名	5,644名	7,129名	4,319名	27,846名	25,049名
事業対象者	9	0	8	0	448	465	366
要支援1	61	0	175	187	1,910	2,333	1,769
要支援2	551	1	416	420	1,961	3,349	2,628
要介護1	3,843	534	2,582	2,773		9,732	8,790
要介護2	2,229	426	1,658	1,978		6,291	5,094
要介護3	800	942	502	807		3,051	3,137
要介護4	851	193	71	747		1,862	2,140
要介護5	83	231	232	217		763	1,125
1日平均人数	23.3名	7.5名	16.2名	19.7名	16.8名		

(*)東宇治事業所については令和6年1月より日曜日の営業を一時休止

(*)台風の影響で8月15日を休業とした。

◆各事業所の特徴

【西小倉】通常規模型については、年間を通し毎月90%以上の稼働率で推移した。認知症対応型については、稼働率が60%~80%台で推移し、利用者の新規受入、廃止が多い年となった。

【東宇治】年度当初は人員体制上の課題から稼働率56%であったが、リハビリ機器の活用を本格化させ、日曜日の営業休止を経て77%台まで回復することができた。

【広野】年間通して、平均85.6%（昨年度79.1%）の稼働率で推移し、3月末では90.0%台を達成することができた。また、個別浴槽の利用者が増えており、今後、重度要介護者の受け入れや職員の介護負担軽減の為、特殊浴槽の導入等を検討する必要がある。

【中宇治】新規利用者獲得のため機関誌を発行し、利用者への紹介・空き状況の確認に利用している。自己都合での欠席も多くみられる。又、体調不良や要介護認定により終了となるケースも見られ、充足率を高めるため、継続的に利用者を受け入れる必要がある。

障害者総合支援事業

<定款第4条(7)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第4条(8)> 障害児福祉サービスに関する事業



【在宅を支える公社のホームヘルパー】

居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計	昨年度
実利用者数	28名	44名	72名	91名
派遣回数	4,800回	6,632回	11,432回	10,424回
派遣時間	4,456時間 10分	5,903時間	10,359時間 10分	11,465時間 20分

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計	昨年度
実利用者数	3名	3名	6名	5名
派遣回数	210回	145回	355回	333回
派遣時間	125時 30分	27時間 00分	152時間 30分	198時間

◆各事業所の特徴

【ぼっぼ】 3月末現在、実利用者45名を対象に居宅での介護（日常の生活支援及び社会参加等）を行っている。

【東宇治】 障がい区分では、精神障害・身体障害がほぼ同数で4割程度、知的障害が2割程度となっている。比較的一回の訪問時間数が長時間にわたる利用者も複数利用されている。

障害者相談支援センター

障害のある方やお子さん、その家族が抱える悩みや困りごとについての相談や、一人ひとりが望む地域生活の実現のために、専任で3名の相談支援専門員を配置してサービス等利用計画支援を行った。

◆実績

	サービス利用計画作成	昨年度
総件数	757件	691件
実人数	83名	69名

宇治市受託事業

＜定款第4条(9)＞ 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【介護予防の取り組みを地域に広げる】



【今年度初めて受託した入門的研修の様子】

訪問型事業

1) 訪問指導事業（健康増進法に基づく事業）

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業であり、介護保険や障害者総合支援法等で当該事業に相当するサービスを利用できる方は除外され、市の担当者が必要と判断された方が対象となる。

宇治市担当課で広報紙を作成されたが、前年度に続き実績がない状況であった。市民への事業の周知方法等、引き続き担当課との協議を行う。

2) 訪問型短期集中予防サービス

短期集中予防サービスの訪問型のうち、主に運動面に係る支援について委託を受け、地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1対象者当たり3ヵ月間で最大6回の支援を行う。リハビリ専門職の視点から、生活課題に対する評価や改善プログラムを計画し取り組みを支援した。

また、通所型サービス利用者は、訪問型を最大2回まで利用し、自宅での状況把握や指導を行うことで、生活課題の改善に向けた支援に繋がった。

◆実績

	件数	実利用者数
通所型併用	62件	45名
訪問型	68件	18名
計	130件	63名

通所型介護予防事業

1) 健康倶楽部

65歳以上の市民を対象に、市政だよりで募集し抽選で決定した対象者に対して、運動器向上プログラムを中心とした一般介護予防事業「健康倶楽部」を行った。

自分の体重を活用した運動を主とする「スロートレーニング教室」、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワリハトレーニング教室」の2種類の教室を広野地域福祉センター等の各会場にてそれぞれ20回を2クール又は4クール実施した。前年まで行っていた複合型のプログラムを有した教室は、他事業所が行う「はつらつトレーニング教室」のみとなり、「スロートレーニング教室」の会場数が4会場2クールから6会場2クールになり、各クールに1回ずつ専門職の講話を取り入れる内容となった。

◆スロートレーニング教室 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
あいらの杜宇治五ヶ庄	20回	12名	195名	9.8名
西小倉地福 A	20回	21名	372名	18.6名
榎島コミセン	20回	20名	335名	16.8名
西小倉地福 B	20回	22名	385名	19.3名
広野地福	20回	20名	322名	16.1名
東宇治地福	20回	20名	323名	16.2名
リエゾン宇治おおくぼ	20回	18名	317名	15.9名
西小倉地福	20回	20名	326名	16.3名
開地福	20回	16名	273名	13.7名
六地藏公会堂	20回	15名	267名	13.4名
広野地福	20回	14名	234名	11.7名
東宇治地福	20回	21名	371名	18.6名
計	240回	219名	3,720名	15.5名

*地福：地域福祉センター *コミセン：コミュニティーセンター

◆パワリハトレーニング教室 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
A広野地福	80回	71名	1,220名	15.3名
B黄檗体育館	80回	41名	678名	8.5名
C広野地福	80回	63名	1,134名	14.2名
計	240回	175名	3,032名	12.6名

*地福：地域福祉センター

2) 通所型短期集中予防サービス

短期間で集中的に心身機能の向上に取り組み、生活課題を改善し日常生活への定着を目標とするサービスとして、栄養・口腔ケアの内容を含む複合型のコースを2会場それぞれ週1回ずつ実施した。参加者は随時受け入れ、一人につき10回を1クールとし、各会場年間40回の予定で開催した。大雨警報による中止が1回発生し、振替日程が同会場同曜日で調整できなかったため、1回減となった。

地域包括支援センター等のケアマネジャーによるプランに基づき、通所前後を含む期間中の最大2回までの訪問型サービスを併用し、自宅での評価や指導を行った。

◆通所型短期集中予防サービス 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
黄檗体育館	40回	28名	217名	5.4名
広野地福	39回	19名	139名	3.6名
計	79回	47名	356名	4.5名

3) セルフパワリハ

65歳以上の利用希望者で、宇治市担当課で受け付け、登録された方が実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う事業であり、利用者の自己管理・自主トレーニングを基本とし、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職が指導した。

今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、抽選による時間入れ替え制で人数を1単位16名×3単位、計48名までとしていたが、人数の増加に伴い、回数を工夫する事で1単位16名以上を受け入れる方法に年度途中から変更となった。

◆実績

会場	実施回数	新規登録者数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
広野地福	90回	30名	3,101名	34.5名

4) 認知症予防教室

65 歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、市内の介護予防拠点施設を中心に市内8会場（4 会場×2 クール）で「あたまイキイキ教室」を開催し、教室に継続的（週 1 回20 回）に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を行い、生活の活性化を図ることを目的として実施した。

前年度参加していない方を優先とし、会場ごとに安全に実施できる人数を設定して開催した。

◆実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第 2 位を四捨五入)
菟道集会所	20 回	14 名	244 名	12.2 名
平尾台西集会所	20 回	10 名	188 名	9.4 名
小倉デイホーム	20 回	18 名	316 名	15.8 名
平盛デイホーム	20 回	18 名	282 名	14.1 名
うじ安心館	20 回	21 名	305 名	15.3 名
東宇治コミセン	20 回	18 名	336 名	16.8 名
グリーントウン榎島	20 回	11 名	195 名	9.8 名
西小倉地福	20 回	18 名	334 名	16.7 名
計	160 回	128 名	2,200 名	13.8 名

5) 地域リハビリテーション活動支援事業（地域 de げんき講座）

地域で介護予防に取り組むグループの活動や自主グループの立ち上げを支援する目的で、リハビリテーション専門職等が地域の活動の場へ出向き、グループの要望に応じた講話や運動プログラムの体験を提供し、介護予防の啓発や身近な地域での健康維持・増進に役立てていただく事業を行った。

チラシの配布等案内し、半数が 65 歳以上で構成される 10 名以上の登録があるグループを対象とした。終了時には実施状況の振り返りや依頼団体の把握のためのアンケートも実施した。

◆実績

内訳	実績	備考
実団体数	41 団体	
実施回数	67 回	26 団体が 2 回利用
延参加者数	933 名	

6) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（フレイル予防教室）

宇治市民中心の地域団体へ、栄養・口腔・運動3つの出前講座を行う事業で、運動講座を担当した。市が派遣を決定した介護予防に資する通いの場を運営する団体に、リハビリの専門職が出向き、体力測定や体操実技指導などを実施した。

◆実績

33団体、延べ414名

地域包括支援センター運営事業

市からの受託事業として、市内3カ所（西宇治、東宇治南、中宇治）を拠点に、地域包括支援センターの運営事業を行った。

1) 介護予防支援事業（事業対象者・要支援1・2の方の給付管理）

◆実績

		西宇治	東宇治南	中宇治	計	昨年度
予防給付年間 給付管理件数	直接	1,990件	2,187件	1,936件	6,113件	5,630件
	委託	1,264件	1,040件	1,182件	3,486件	3,862件
	計	3,254件	3,227件	3,118件	9,599件	9,492件
新規件数		98件	105件	108件	311件	276件

2) 総合相談・権利擁護・包括的支援事業

◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計	昨年度
新規相談者数	612名	514名	507名	1,633名	1,619名
（再掲）独居・高齢者世帯	324名	319名	277名	920名	837名
（再掲）認知症・精神疾患	52名	162名	96名	310名	352名
相談延べ人数	3,496名	1,749名	1,765名	7,010名	7,316名
高齢者虐待に関すること(延べ)	135名	123名	108名	366名	349名
ケアマネ支援(実人数)	11名	13名	9名	33名	60名

3) 小地域包括ケア会議開催

◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テーマ
西宇治	6月30日	23名	民生委員からの地域加地の抽出と共有
東宇治南	4月4日	21名	西木幡自治会 小地域ケア会議 「地域課題の把握・発見」
	5月9日	22名	西木幡自治会 小地域ケア会議 「地域課題の把握・発見」
	5月12日	13名	利用者のカスタマーハラスメントについて
	6月6日	22名	西木幡自治会 小地域ケア会議 「地域課題の把握・発見」
	11月25日	12名	認知症高齢者の在宅で継続した支援について
中宇治	10月19日	11名	高齢者等が安心して暮らすことができる街づくりを行うために、現状を共有し取り組みにつなげよう

4) 脳活性化事業

地域において認知症の正しい理解を広げ、自主的に介護予防に取り組んでいただくために、認知症についての情報提供や、体操、レクリエーション等を行う教室を包括圏域ごとに実施した。

「レッツにしよう」(西宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	西小倉地域福祉センター(火)	6回	92名
	西小倉地域福祉センター(金)	6回	85名
後期	西小倉地域福祉センター(火)	6回	100名
	西小倉地域福祉センター(金)	6回	105名
計		24回	382名

「あつまれ元気の森」(東宇治南圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	木幡公民館	6回	128名
	西岡屋	6回	100名
後期	木幡	6回	79名
	三番割集会所	6回	50名
計		24回	357名

「おいでやす脳活道場」(中宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	宇治市福祉サービス公社中宇治事業所	6回	69名
	広野地域福祉センター	6回	103名
後期	広野地域福祉センター	6回	78名
	ユニライフ宇治琵琶	2回	26名
	シロツメクサ	2回	18名
	白川サロン	2回	23名
計		24回	317名

5) 初期認知症総合相談支援事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名(社会福祉士)と補助職員1名(看護師)を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

① 認知症対応型カフェの企画・管理

宇治市全域の「れもんカフェ」12回を「認知症の本人・家族の一体的支援プログラム ミーティングセンターれもんカフェ」として開催した。管轄する4地域包括圏域のカフェを夫々3回で計12回と併せて計24回(市全体では年36回)の「れもんカフェ」を開催した。

◆圏域カフェ 計12回

圏域名	開催場所	回数	参加者数
東宇治北圏域	ハーモニーやまはた、カフェクラリネ、喫茶六地藏	3回	38名
東宇治南圏域	わに食堂、みんなのカフェぐりぐり、宝善院	3回	30名
南部・三室戸圏域	三室戸北集会所、Collabo House、みむろどデイサービス	3回	48名
中宇治圏域	広野地域福祉センター、宇治教会、うさぎのセロリ	3回	42名
計	12ヶ所	12回	158名

※北宇治地域包括支援センターが管轄する、槇島、北宇治、西宇治、南宇治圏域は除く。

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない

◆ミーティングセンターれもんカフェ 計 12 回

開催月	開催場所	開催内容	参加者数
4 月	宇治市植物公園	植物公園の散策、喫茶	13 名
5 月	宇治市福祉サービス公社	調理、茶摘み振り返り	13 名
6 月	太陽が丘運動公園	テニス教室	8 名
7 月	宇治市福祉サービス公社	植物公園プレート作り、お菓子作り	11 名
8 月	京都認知症総合センター	植物公園プレート作り	13 名
9 月	京都認知症総合センター	植物公園プレート作り、軽食作り	10 名
10 月	宇治市植物公園	れもんプレート設置作業	8 名
11 月	宇治市福祉サービス公社	お菓子作り	11 名
12 月	京都文教大学	ミニコンサート、講演会	14 名
1 月	宇治市福祉サービス公社	卓球、お菓子作り	15 名
2 月	京都認知症総合センター	コースター作り	13 名
3 月	京都認知症総合センター	ミーティング	12 名

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない。

※12 月開催のカフェは、京都文教大学とのコラボであり、参加者数は本人、家族のみ。

② 認知症初期集中支援チーム事業の実施及び事例検討会の開催

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

中宇治チームは市内 4 圏域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し、16 ケース【市全体としては 31 件】の訪問調査と介護サービス導入や、医療受診等必要な支援を行った。

◆チーム員会議

チーム員会議場所	会議開催数	会議ケース(件)	年度内終了件数(件)	継続中
洛南病院	24 回	12 件	9 件	3 件
宇治おうばく病院	11 回	2 件	1 件	1 件
京都認知症総合センター	12 回	1 件	0 件	1 件
未実施	1 回	1 件	0 件	1 件
計	48 回	16 件	10 件	6 件

※未実施は会議を実施せず。

※会議未実施ケースを含む、未終了ケース 6 件については来年度以降も継続して対応する。

◆担当圏域との調整会議（事例検討会）

宇治市、地域包括支援センターと一緒に、初期集中支援チームのケースについて事例や傾向を共有し、意見交換をした。また、残りの時間で、れもんカフェについても情報共有した。

回数	開催日	内容	参加人数
1	7月27日	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援事例検討会(認知症の気づきと相談対応について) れもんカフェ運営について意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 包括 10名 市 3名 北宇治 2名 中宇治 5名
2	3月7日	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援事例検討会、長寿生きがい課より新体制について れもんカフェ運営について意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 包括 8名 市 1名 北宇治 2名 中宇治 4名

③ 認知症を正しく理解するための連続講座の開催

市民や市内の介護保険事業者、医療関係者に対して啓発事業の一環として、京都府立洛南病院の森俊夫先生等を講師に、認知症を正しく理解いただくための連続講座を開催した。

全4回全ての講座を受講された方に宇治市長名で修了証を発行するとともに、希望者には宇治市の認知症事業のボランティアである「れもねいだー」に登録をいただいた。

また、「れもねいだー」を対象とした講座も別途開催した。

◆【認知症を正しく理解するための連続講座】

会場：うじ安心館 3階ホール

受講者数：36名 修了証発行者数 27名 新規れもねいだー登録者数：3名

〔れもねいだー登録状況〕登録者数：110名 ※活動辞退者を除く

回数	開催日	内容	講師
1	9月4日	認知症あんしんサポーター養成講座	認知症コーディネーター 福田 裕香
2	10月2日	認知症の医療とケア①	府立洛南病院 医師 森 俊夫氏
3	11月3日	認知症の医療とケア②	府立洛南病院 医師 森 俊夫氏
4	12月4日	振り返りとこれからについて	宇治市福祉サービス公社 川北 雄一郎

◆【れもねいだー講座】 受講者数：17名（現：14名・新：3名）

開催日	会場	内容
1月15日	うじ安心館 3階ホール	① れもねいだーの「活動紹介」 ② れもねいだー体験談 ② グループミーティング

④ 認知症あんしんサポーター養成講座の開催及びキャラバン・メイト事務局運営

◆認知症あんしんサポーター養成講座

開催回数	受講者数
40回	1,500名

◆宇治市キャラバン・メイト事務局

事務局として、キャラバン・メイトのボランティア加入手続き及び年2回の新聞発行、年2回のフォローアップ研修を実施した。

回数	開催日	会場	内容	講師	受講者数
1	8月29日	生涯学習センター 第2ホール	実践報告、アンケート内容について、意見交換会	事務局	13名
2	2月6日	生涯学習センター 第2ホール	実践報告、テキストについて、アンケートについて、意見交換会	事務局	22名

⑤ 宇治市認知症家族支援プログラムの開催及び鈴の音会

◆宇治市認知症家族支援プログラム

会場：宇治市総合福祉会館

回数	開催日	内容・講師等	参加者
1	9月8日	内容：「つくろうネットワーク」 講師：認知症の人と家族の会京都府支部 河合 雅美氏	4名
2	10月11日	内容：認知症の基本的な知識「学びましょう、認知症のこと」 講師：宇治おうばく病院 医師 樋川 毅氏	6名
3	11月10日	内容：サービスのいろいろ「上手に使おうサービス利用」 講師：東宇治南地域包括支援センター職員 大西 早紀	4名
4	12月8日	内容：介護の仕方と介護者の心「見つめてみましょう、あなたの心」 講師：認知症の人と家族の会京都府支部 井垣 敦氏	5名
5	1月12日	内容：「認知症の人との関わり方」 講師：グループホーム事業所等職員 川口 麻衣子氏	4名
6	2月9日	内容：医師との関わり方、薬について「医師と上手に付き合おう」 講師：京都府立洛南病院 医師 米澤 恵子氏	3名

◆鈴の音会

毎月第4金曜日に年12回(内10回は交流会、2回は研修会)開催した。

- **交流会** 毎月第4金曜日の午後(13:30~15:30)開催(全10回)
開催回数：10回 参加実人数：10名 参加延べ人数：52名
場所：認知症総合センター 2階 多目的室
- **研修会** 開催回数：2回 参加実人数：13名 参加延べ人数：19名
場所：京都認知症総合センター 2階 多目的室

回数	開催日	内容	講師	受講者
1	11月24日	介護者自身のメンタルヘルス～共生～	精神科医 有賀 やよい氏	11名
2	3月22日	宇治市認知症ケアパスってなに？ ～認知症等の取り組みを知ろう～	宇治市福祉サービス公社 事務局長 川北 雄一郎	8名

⑥ 認知症カフェ運営者・スタッフ研修

京都府下で認知症カフェを運営している団体の運営者・スタッフを対象とした研修会を企画・実施した。今年度もオンライン研修とした。

回数	開催日	テーマ(内容)	講師	参加者数
1	11月17日	「学生と複数の事業所や専門家の共同による認知症カフェの取り組みから学ぶ」 みゆきよりみちカフェ (広島県福山市)	福山平成大学教授 中司登志美氏	30名
2	12月21日	「常設型認知症カフェを起点とした地域デザインから学ぶ」 as a café (熊本県熊本市)	特定非営利活動法 人あやの里代表 岡元奈央氏	36名
3	1月24日	「住民主体による、オンラインと喫茶店を併用したカフェの実践から学ぶ」 認知症カフェ昼のちょうない会、夜のちょうない会 (愛知県愛知郡)	昼の町内会・夜の 町内会代表 田中恵一氏	27名
4	2月16日	「京都府認知症カフェ運営サポート事業の取り組みから学ぶ」	(一社)京都府作 業療法士会 田中正子氏	35名
5	3月14日	最終講義 「これから先 10年の認知症カフェについて一緒に考えていきましょう」	高知県立大学 社 会福祉学部准教授 矢吹知之氏	34名

6) 認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名（社会福祉士）と補助職員1名（看護師）を配置し、市が掲げる「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて事業を実施した。認知症の本人・家族の声をもとに、ボランティア（れもねいだー）や企業（れもねいど加盟企業・団体）との共働により、事業に取り組んだ。

① 第10回認知症フォーラム in 宇治の開催

【テーマ】 「認知症と共に生きる社会の実現に向けて
～認知症の人にやさしいまち・うじの未来～」

【開催日】 令和6年3月20日（祝） 13:00～16:00

【場 所】 宇治市生涯学習センター 第1ホール

【参加者】 144名

② 宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”推進協議会の開催

宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”の事務局として、当事者、関係団体代表者等で構成された推進協議会を年4回開催した。

回数	開催日	会場	内容
1	6月26日	宇治市役所 8階 大会議室	今年度のれもねいど推進協議会について・令和4年度の事業報告・令和5年度の活動方針について 他
2	9月25日	宇治市役所 8階 大会議室	上半期の活動報告・れもねいど加盟登録及びアクションについて・今年度の認知症フォーラムについて
3	12月18日	うじ安心館 3階 ホール	今年度の評価及び来年度に向けた意見交換・れもねいど加盟登録及びアクションについて・認知症フォーラムについて
4	3月11日	うじ安心館 3階 ホール	下半期の活動報告及び今年度のまとめ・れもねいど加盟登録及びアクションについて・令和6年度宇治市初期認知症総合相談支援事業について・認知症フォーラムについて・意見交換・来年度の予定

③ 京都文教大学グループミーティング

京都文教大学で当事者グループミーティングについては、全6回開催され参加した。また、12月に開催された「ともいきフェスティバル」では全域れもんカフェを認知症当事者、家族、学生の協力を得て大学内で開催した。

回数	開催日	会場	内容
1	5月16日	京都文教大学	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて 今年度取り組みたいこと
2	6月20日	京都文教大学	京都式オレンジプラン・10のアイメッセージ
3	7月18日	京都文教大学	京都式オレンジプラン・10のアイメッセージ

4	10月17日	京都文教大学	れもねいど企業・団体に伝えたい本人・家族の声
5	11月21日	京都文教大学	ともいきフェスティバルに向けて
6	1月16日	京都文教大学	今年度のれもねいど活動の評価

④ れもねいだー交流会及びれもねいど通信の発行

◆れもねいだー交流会

れもねいだーの交流と資質向上のため開催した。

回数	開催日	開催場所	内容	参加者数
1	7月12日	京都認知症総合センター	お茶摘みで茶園さんからいただいたお茶を飲んで交流しましょう	11名
2	10月19日	井内農園	芋ほり～焼き芋をしながら交流しましょう～	3名
3	10月27日	井内農園	焼き芋～焼き芋をしながら交流しましょう～	9名

◆れもねいど通信

「認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業」を中心に宇治市の認知症事業について広報するため、隔月で年6回通信を発行した。通信についてはホームページやFacebook、LINEなどで発信した。

⑤ しごとれもん

【認知症当事者の方の就労を目的として、れもねいど加盟登録団体とともに取り組んでいる活動】

◆茶摘み

9年目の取り組みとして実施。認知症の本人12名、家族8名、れもねいだー15名、スタッフその他35名の計70名(延べ176名)が参加した。11日間で121.86kgの摘み高であった。

開催日	開催場所	参加人数	収穫量kg
4月24日	渡邊製茶	本人2/家族2/れもねいだー2/スタッフ7	11.18kg
4月25日	渡邊製茶	本人4/家族4/れもねいだー2/スタッフ6	10.36kg
4月27日	渡邊製茶	本人1/家族1/れもねいだー1/スタッフ4	4.06kg
5月1日	青山製茶	本人5/家族5/れもねいだー6/スタッフ15	8.12kg
5月2日	青山製茶	本人5/家族5/れもねいだー4/スタッフ7	15.88kg
5月8日	渡邊製茶	本人4/家族3/れもねいだー4/スタッフ8	15.62kg
5月9日	渡邊製茶	本人2/家族2/れもねいだー2/スタッフ10	14.72kg
5月10日	渡邊製茶	本人2/家族2/スタッフ7	13.64kg
5月11日	渡邊製茶	本人1/家族1/れもねいだー2/スタッフ7	9.22kg
5月12日	渡邊製茶	本人6/家族3/れもねいだー4/スタッフ10	16.36kg
5月17日	柴田製茶	本人1/家族1/スタッフ6	2.7kg

◆万願寺とうがらし収穫

7年目の取り組みとして実施。認知症の本人14名、家族7名、れもねいだー12名、スタッフその他15名の計48名が参加した。126.4kgの万願寺とうがらしを収穫し、れもねいど加盟登録企業・団体へ販売し、その一部を参加者に賃金として支払った。

開催日	開催場所	参加人数	収穫・販売量 kg
7月26日	井内農園 宇治市福祉サービス公社	本人14/家族7/れもねいだー12/ スタッフ他15	126.4kg

◆こかぶ収穫

6年目の取り組みとして実施。認知症の本人14名、家族7名、れもねいだー14名、スタッフその他20名の計55名(延べ65名)が参加した。2日間で計608個のこかぶを収穫し、れもねいど加盟登録企業団体へ販売し、その一部を参加した認知症当事者に賃金として支払った。

開催日時	開催場所	参加人数	収穫 販売量
11月1日	井内農園 宇治市福祉サービス公社	本人7/家族2/れもねいだー6/スタッフ他12	303個
11月2日	井内農園 宇治市福祉サービス公社	本人10/家族5/れもねいだー11/スタッフ他24	305個

宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。

1) デイルーム等の利用状況

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	合計	昨年度
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
男性	864名	25名	274名	1,163名	838名
女性	545名	453名	1,972名	2,970名	2,113名
計	1,409名	478名	2,246名	4,133名	2,951名

※西小倉事業所のデイルームについては、毎週木曜日の午前中に、住民主体型通いサービスを実施中。

※入浴施設の一般開放は新型コロナウイルス感染症対策として休止した。

2) 施設の利用状況

◆実績

利用区分 ※()は広野での呼称	西小倉		東宇治		広野	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
ボランティアルーム	412件	5,514名				
地域交流室(会議室)	399件	9,584名	465件	10,799名	473件	9,016名
研修室(介護者教育室)			465件	10,799名	472件	9,189名
料理教室	229件	4,050名	138件	3,438名	38件	244名
計	1,040件	19,148名	1,068件	25,036名	983件	18,449名

生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター業務)

1) 宇治市全体に関わる業務(1層)

生活支援サービス等の担い手となるボランティアの養成等に関する業務(第1層)

○ 宇治源輝人講座の実施(宇治市健康長寿サポーター養成講座入門編)

住み慣れた地域で生き生きと暮らすために超高齢社会の現状と課題を知り、いつまでも元気ではつらつと輝く人生を贈るためのヒントを学び、地域で活躍していただくための担い手養成することを目的にした入門講座を実施した。健康長寿サポーターは平成27年度より本年度で延べ254名に達した。

内 容	講 師	第1期	第2期
「超高齢社会を元気に生きるヒント～アクティブなシニアライフを共に考えてみませんか?～」	宇治市生活支援コーディネーター 大槻 剛	6月20日 7月6日	10月3日 1月17日
「楽しくボランティア活動をするために」	元京都文教短期大学教授 森川 知史氏 京都ボランティア協会 岡野 英一氏	6月22日 7月11日	10月5日
わがまちの地域活動を学ぼう～わたし、こんな活動で生きがいを見つけました!」	健康長寿サポーター 和智 哲三氏 健康長寿サポーター 太田 久美子氏	6月27日 7月14日	10月11日
受講者数		38名	17名
サポーター登録		31名	11名

○ 宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)の実施

宇治源輝人講座を受講し、健康長寿サポーターとして登録された方、既に健康長寿サポーターとして活動される方を対象に、住民主体型通所サービス及び生活支援サービスや各種団体活動等を立ち上げていくために必要なスキルを学ぶことを目的に、計2期8日間開催し、延べ184名の参加があった。

○「第8回宇治市健康長寿フェス2024」の開催

開催日：令和6年2月24日（土）11時～16時
場 所：宇治市生涯学習センター 第一ホール
テーマ：「私の秘めた力を発信する～誰もが生きがいをもって活躍できる宇治市～」
開催日時：令和6年2月24日（土）11：00～16：00
場 所：宇治市生涯学習センター
参加者数：300名
内 容：基調講演「生涯現役宣言！～支え合いつながりあて、元気もりもり～」細井恵美子氏 演劇 「虹のかけはし～貴方の夢と新しい日常をつなぐ」他

2) 日常生活圏域への取り組み（2層）

○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）の業務

圏域単位の地域課題等を抽出し、整理、課題解決の取り組みとして、地域包括支援センターと連携して、地域の関係者との関係づくりを進めた。

【中宇治圏域】

団体名・地区	内 容
琵琶台まちづくり推進会議 G&B	令和3年1月～準備会、令和3年9月設立 構成：自治会、学区福祉委員、民生委員、喜老会、子ども会、地域包括支援センター・宇治市 目的：①琵琶台地区の高齢者が安心して暮らせる地域環境づくり ②一人暮らし高齢者や高齢世帯の日常生活の見守りや災害時の支援体制を構築する。 開催回数：1回 取り組み内容：子ども会とのラジオ体操、防災訓練、文化祭、防災講演会

【西宇治圏域】

団体名・地区	内 容
伊勢田ふれあいプロジェクト	構成：小学校、PTA、子ども会連絡協議会、防犯推進委員会、安全管理委員会、青少年健全育成協議会、民生児童委員協議会、喜老会（2団体）、サロン（2団体）、学区福祉委員会、少年補導、体育振興会・連合自治会、地域包括支援センター・宇治市社会福祉協議会・宇治市 目的：各種団体を通して子どもたちの見守りや登下校の立ち合い等高齢者の新たな役割のために、各種団体との協働実践を行う。 開催回数：7回 取り組み内容：小学校でのふれあいラジオ体操・ 登校時見守り活動

ちょっと出て いこうよ！ ふれあい プロジェクト ～西小倉地域～	構成：おぐらばんごはんの会（ローソン小倉堀池店オーナー） 宇治市社会福祉協議会・通いの場花おり・和みカフェ（喫茶店） 西小倉地域福祉センター・地域包括支援センター・宇治市 目的：子どもから高齢者まで集うイベントを企画し、地域福祉課題の整理 開催回数：5回 取り組み内容：11/26 にしおぐら de おさんぽラリー（4つの居場所を巡る）
はにかむカフェ ～誰も気軽に立ち寄り、特技等が発揮できる伊居場所づくり	構成：（株）てくのハウス・健康長寿サポーター4名（伊勢田地区民生児童委員協議会・学区福祉委員会）・地域包括支援センター・宇治市 目的：（株）てくのハウスより空き店舗を活用し、「まちの母屋のような存在でありたい」を基に、地域に頼れる存在であるために、誰もが気軽に立ち寄れる、人とつながりができる場づくりを行う。 開催回数：12回 取り組み内容：月2回のカフェの運営（令和5年12月から）

産後ケア事業（訪問型）

宇治市福祉こども部保健推進課の事業である産後ケア事業のうち、訪問による家事支援の事業を受託し、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣した。

◆実績

内訳	令和5年度	昨年度
実利用者数	22名	24名
延べ利用回数	96回	109回
延べ利用時間	165時間	195.75時間

子育て世帯支援事業（訪問型）

今年度より新たに委託を受けた事業で、いわゆるヤングケアラーがいる世帯に対して、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣し、家事支援を行った。

◆実績

内訳	令和5年度
実利用者数	4名
延べ利用回数	27回
延べ利用時間	46時間

入門的研修事業

今年度より新たに委託を受けた事業で、介護に関心を持つ市民等を対象に介護未経験の方向けの基本的な知識・スキルを身につけるための研修を開催し、公社職員が講師を務めた。

受講者：18名 修了者：18名 宇治市生活支援員研修受講者：1名
開催場所 宇治市生涯学習センター

	開催日	テーマ
1回目	2月14日(水)	①介護に関する基礎知識 ②介護の基本 ③基本的な介護の方法1
2回目	2月15日(木)	①障がいの理解 ②認知症の理解
3回目	2月21日(水)	①基本的な介護の方法2
4回目	2月22日(木)	①基本的な介護の方法3 ②介護における安全確保